

## 15. 清掃・リサイクルの推進

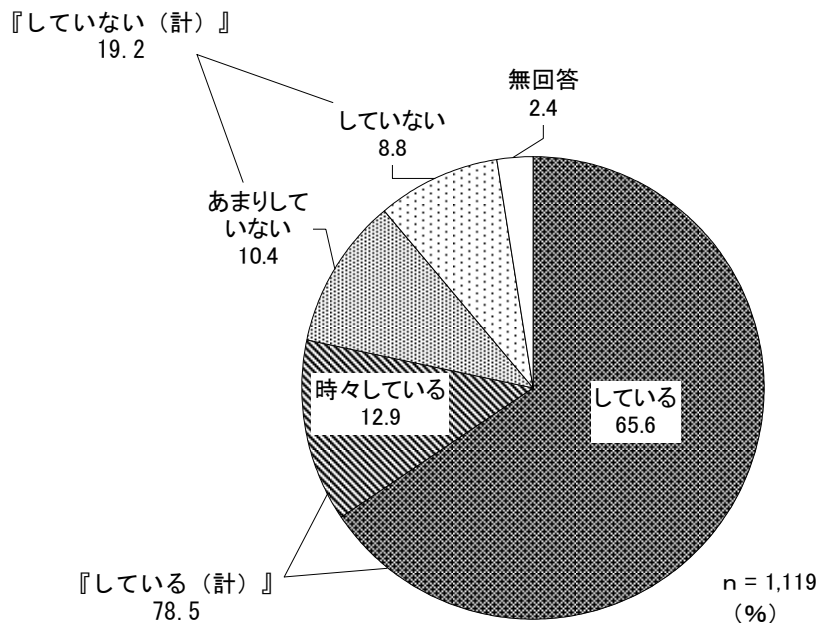
### (1) 紙ごみの分別状況

◇「している」と「時々している」を合わせた『している(計)』が8割近く

問 30 あなたの家庭で資源化できる紙ごみの分別はしていますか。(○は1つだけ)

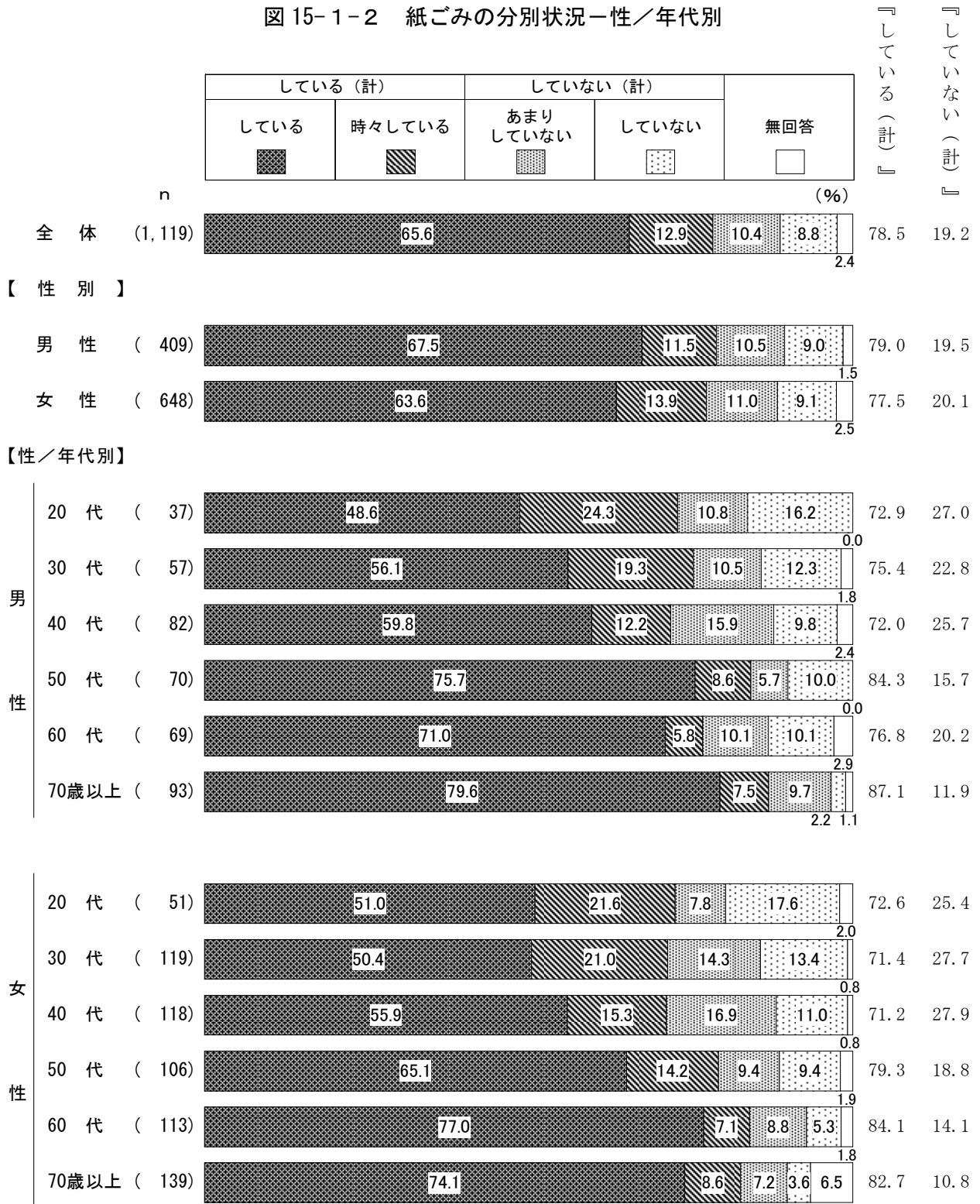
※区が収集した可燃ごみの中には、資源化できるトイレtpーパーやラップの芯・包装紙・封筒・菓子箱・ティッシュの箱・紙袋などの紙ごみ(雑がみ)が20%入っています。雑がみは、紙袋に入れてしばって「資源」の日に出していただくとごみの減量と資源化を進めることができます。

図 15-1-1



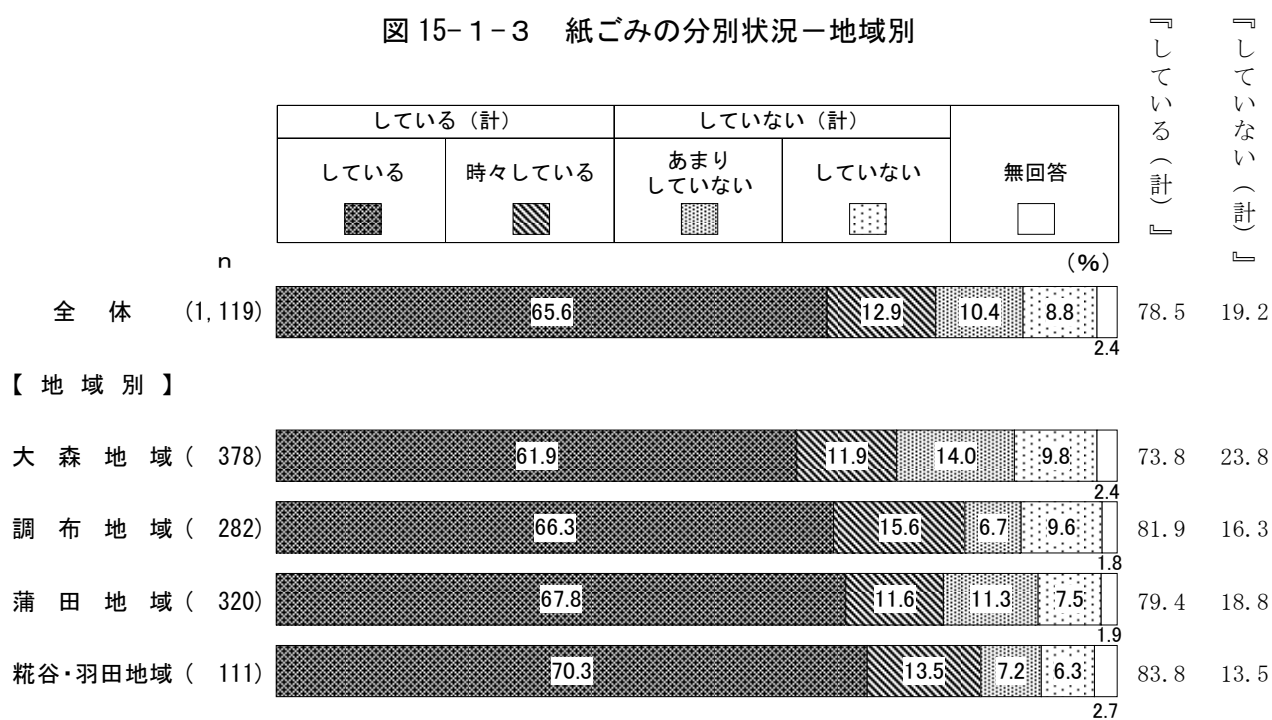
家庭で資源化できる紙ごみの分別をしているか聞いたところ、「している」(65.6%)が6割半ばで最も高く、これに「時々している」(12.9%)を合わせた『している(計)』(78.5%)は8割近くとなっている。一方、「あまりしていない」(10.4%)と「していない」(8.8%)を合わせた『していない(計)』(19.2%)は約2割となっている。(図 15-1-1)

図 15-1-2 紙ごみの分別状況－性／年代別



性別でみると、「している」は男性 (67.5%) が女性 (63.6%) より3.9ポイント高くなっている。  
 性／年代別でみると、『している (計)』は男性70歳以上 (87.1%) で9割近くと高くなっている。  
 一方、『していない (計)』は女性の30代 (27.7%) と40代 (27.9%)、男性20代 (27.0%) で3割  
 近くと高くなっている。(図15-1-2)

図 15-1-3 紙ごみの分別状況—地域別



地域別でみると、『している (計)』は糀谷・羽田地域 (83.8%) と調布地域 (81.9%) で8割を超え高くなっている。一方、『していない (計)』は大森地域 (23.8%) で2割を超え高くなっている。(図15-1-3)